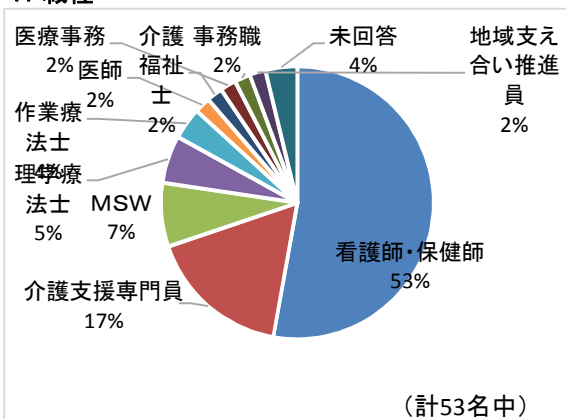


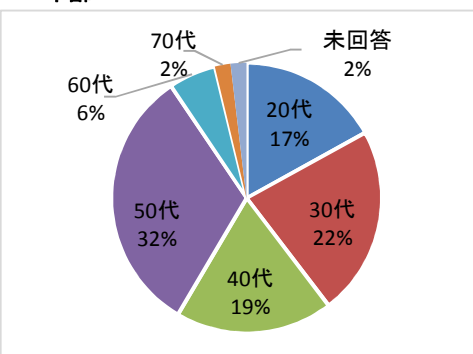
絆研修アンケート結果（第4回絆研修①:令和元年6月16日）

研修参加者55人 アンケート回収53人 回収率96%

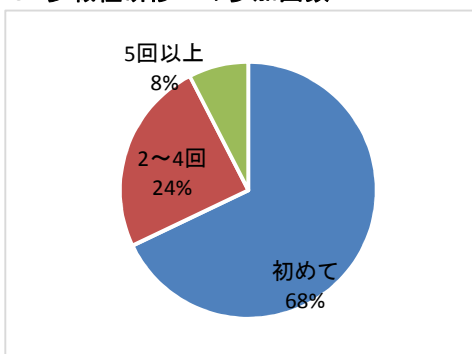
1. 職種



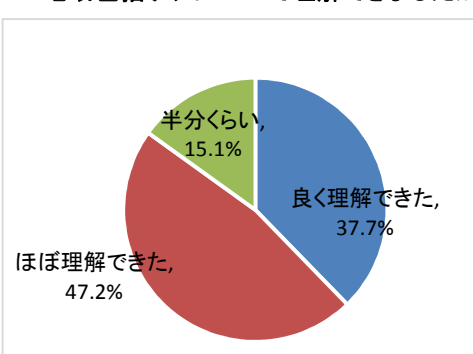
2. 年齢



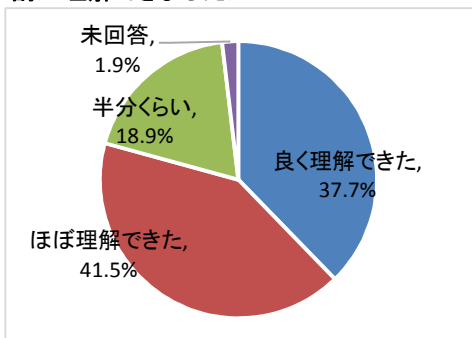
3. 多職種研修への参加回数



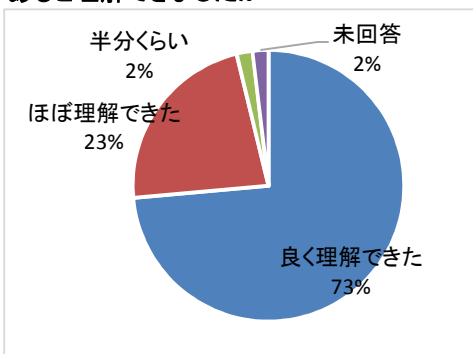
4. 地域包括ケアについて理解できましたか



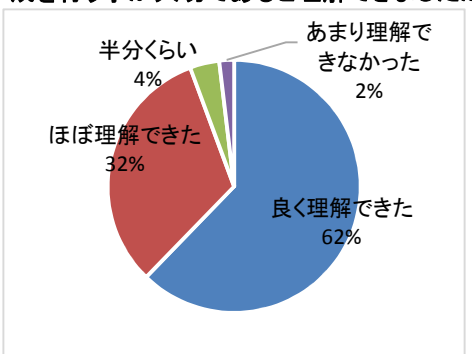
5. 退院から在宅へ支援していく多職種の役割が理解できましたか



6. 退院前カンファレンスが退院支援に重要であると理解できましたか



7. 価値観の多様性を理解し、本人を尊重した合意形成を行う事が大切であると理解できましたか



絆研修アンケート結果（第4回絆研修①:令和元年6月16日）

8. 研修の評価(5段階)

①研修時間

評価	人数
1 (長い)	2
2	3
3 ↓	46
4 ↓	1
5 (短い)	0
<hr/>	
	53

②難易度

評価	人数
1 (難しい)	0
2	8
3 ↓	35
4 ↓	8
5 (やさしい)	2
<hr/>	
	53

③積極的に参加できたか

評価	人数
1 (できた)	11
2 ↓	18
3 ↓	16
4 ↓	7
5 (できなかった)	0
<hr/>	
	53

④ファシリテータの仕事ぶり

評価	人数
1 (よかった)	29
2 ↓	16
3 ↓	8
4 ↓	0
5 (悪かった)	0
<hr/>	
	53

9. 改善点(自由記載)

- ・誰が何役か決める時、グループワークはいつもお互いに遠慮し合い時間のロスに繋がる。スパッとファシリテーターが機械的に割り振ってしまえば時短になるかと思いました。
- ・より多職種の参加があると良いと思った。
- ・話し合いの時間が短く意見がまとまりにくかった。もう少し時間が欲しかった。
- ・グループワーク形式で具体的で良かった。
- ・司会が発表できるようにしていきたい。
- ・ソーシャルワーカー、リハビリの職種が少なかったのもっと集まると良いと思う。
- ・グループワーク時、後〇分です。と少し前に声掛けしていただけると皆さん話をまとめやすいと思う。模擬カンファレンス前、どこまで話が進んでいるのか決めていただけたら。

10. その他

- ・さらにざっくばらんに専門的な現実が伺えるよう例えば昼食会などがあると面白いかと思った。
- ・なかなか外部の研修等に参加できないですが、日時や研修時間が参加しやすい日程で良かった。
- ・多職種のコラボがいかに患者に有効であるかよく理解できた。
- ・退院前カンファレンスでの自分の役割、伝えないといけない事などが理解できた。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・居宅、施設サービスについてとても分かり易くまとめてあり分かり易かった。可能であれば鳥取県内で該当する施設名を例に挙げていただけたらもっと理解が深まったと思う。
- ・顔が見える関係づくりはありがたい。
- ・退院支援へカンファレンスにもっと積極的にしかも事前に色々情報収集をして見立てをして参加しなければと気持ちを新たにしました。
- ・顔が見える横のつながりがあると連携、絆は強くなり、利用者の暮らしを守り支える事ができると実感した。
- ・個人的には素人の立場でしたが、それぞれの立場が専門的で重要だということを思いました。自分の家族が介護のお世話になる時にも参考になると思う。
- ・独居や生活保護者など後見人が必要な方を退院支援する時に困ります。
- ・参加しやすい雰囲気でも良かった。次回も参加したい。
- ・カンファレンスのグループワークを自分の職種でないものをしたことが良かった。色々な気づきや役割を共有できた。
- ・事例検討出来良かったと思います。
- ・タイトなスケジュールかと思いますが、グループワークの時間がもう少し欲しいといつも思います。せっかく多職種の方が集まり意見交換が出来るので、名刺交換するような機会があれば嬉しいです。